

今日の説教のポイント <使徒言行録8章1b節~25節>

イエスの名による洗礼だけ受けた信仰と、聖霊を受けた信仰の違いとは？

非常に興味深い話です。フィリポ(6:5)が伝道に大いに貢献したという話かと思っ
て読んでみると、そうではなさそうです。彼が授けた洗礼では、「人々は主イエ
スの名によって洗礼を受けてただけで、聖霊はまだだれの上にも降っていなかつ
た」(16)というのですから。ここから何を聞き取るべきなのでしょう。記され
ていることをまずまとめてみましょう。

- ①フィリポはキリストを宣べ伝え(5)、しるしを行い(6)、病を癒した(7)。それ故に、
人々はこぞって彼の話を聞き(6)、大いに喜び(8)、イエス・キリストの福音を信
じ、洗礼を受けた(12)。
- ②「魔術」を使って人々の心をつかみ、「この人こそ偉大なものといわれる神の力
だ」と言われているシモンがいた(9~12)。この人もフィリポから洗礼を受け、フ
ィリポのしるしと奇跡を見て驚いていた(13)。
- ③ところが、「人々はイエスの名によって洗礼を受けただけで、聖霊はまだだれ
の上にも降っていなかった」(16)。それで、使徒ペトロとヨハネが来て、人々の上
に手を置いて聖霊を授けた(14~17)。
- ④シモンはそれを見て、自分も聖霊を授けられる力を欲しくなり、金を持って来て
その力を授けてくれと使徒たちに願った(18~19)。
- ⑤使徒たちは、「神の賜物を金で手に入れられると思っているのか」と彼を叱った
(20~23)。シモンはようやく自分の非を悟り、赦しを乞うた(24)。

この話全体から思われることは、聖霊を授かったということをも、もし「私たち
が」まだ何か、「今まで持っていなかったものを持つことができるようになったよ
うな状態」をイメージするなら、それはシモンとあまり変わらないのではないか、
ということです。聖霊が授けられた人々について、聖書はそのような描写を一切し
ていません。聖霊が授けられた後、その前と何が変わったかということをも、「私が」
これまで持っていなかった何かを「私が」持てたかどうかというようなことを考
えてはいけません。それはなぜかと言えば、もう「私が」どうのこうのというこ
とよりも、「この神様が」私を導いて下さる世界を生きているのだから、というこ
の方が圧倒的に強く、かつ大事だからです。

ですから、今日の箇所前半で人々が見せる姿、すなわち、病気が治ったので驚
き喜び姿、自分が願う状態になったから喜んで洗礼を受け主を信じる姿は、信仰
としてはまだ半分なのです。「聖霊が授けられた、降った」と表現されて状態は、「も
うどんな状態になっても大丈夫。すべて神様の支配の中に置かれているのだから。
世界を造り、支配し、御子を私のために十字架の死に至らせてまでして、私のこ
とを愛して止まない神様の御手の中にあるのだから」、そう思いながら生きてい
ける時に出現している状態なのではないでしょうか。「私はまだそうは思えない」。大
丈夫。あなたが今そのように思えなくても、いつかそのように信じられる者になり
たいと願って生きるなら、神様は私たちに必ず導いて下さるお方であるからです！